



番号	特定開発事業の名称	特定開発事業を行う土地の位置及び区域	特定開発事業者	特定開発事業の目的	特定開発事業の概要				温室効果ガスの排出の抑制を図るため実施しようとする措置の内容					再生可能エネルギー等の活用に係る検討の結果①										特定建築物に係る地球温暖化対策の措置の計画の目標	特定建築物に係る地球温暖化対策の措置の結果	工事の着手予定年月日	工事の完了予定年月日	届出の状況				
					特定開発事業を行う区域の面積(m <sup>2</sup> )	特定建築物の概要			エネルギー使用の合理化	ヒートアイランド現象の緩和	交通環境への配慮	緑の保全と創出	工事に係る配慮	再生可能エネルギー等の活用に係る検討の結果①																		
						棟番号	用途	延べ面積(m <sup>2</sup> )						備考	太陽光発電	太陽熱利用	風力発電	水力発電	地熱発電	再生可能エネルギー	蓄電池	蓄電容量(kWh)	蓄電効率					蓄電回数	蓄電コスト	蓄電容量(kWh)	蓄電効率	蓄電回数
007	(仮称) 南横強靱PJ	足柄下郡箱根町強靱字山1320番56	ヒューリック株式会社 代表取締役社長 西原 亨	旅館の新設	10,352.53	A5棟	旅館	2,458.96	旅館コンクリート造 地上4階・地下1階(客室17室) 建築面積 1,385.13㎡	・LED照明設備を採用し、エネルギー使用量を抑制した。 ・カーテンレールを設置し、日射遮蔽に配慮した。 ・節水型衛生器具の導入した。 ・共用部の一部に全熱交換器を採用し、エネルギー消費を抑制した。 ・共用部の照明設備はタイマー及びセンサーによる制御を行った。 ・屋根及び外壁に断熱性能の高い断熱材を採用し断熱化を図った。 ・窓ガラスにペアガラスを採用し、断熱化を図った。	・建物、駐車場、通路以外の場所について、高木を中心とした樹木及び地被類を植栽することで気候の上昇を抑制した。 ・高木を敷地内でできるだけスペースを確保した。 ・アイドリングストップを促す看板を設置した。	・既存樹木を種力残した配置計画とし、緑の保全に努めた。 ・工事関係車両のアイドリングストップを励行した。 ・高木植栽事業推進事業第24条に規定する緑地の設置した。(再掲)	・事前緑土の再利用をできるだけ取り行った。 ・工事関係車両のアイドリングストップを励行した。 ・緑地負荷の少ない資材をできるだけ採用した。 ・グリーン調達を積極的に実施した。	△	△												種番号B種 ・総合評価 ★★★★ B+以上 ・地球温暖化への配慮 ライフサイクルCO2排出率 80%以下 ・ヒートアイランド現象の緩和 スコア2.5以上	種番号B種 ・総合評価 ★★★★ B+ ・地球温暖化への配慮 ライフサイクルCO2排出率 79% ・ヒートアイランド現象の緩和 スコア3.0	2020/2/15	2021/11/15	2021/10/22 延べ面積 建築面積 階数	2021/11/15
						C棟	旅館	1,803.08	旅館コンクリート造 地下1階地上2階(客室21室) 建築面積681.04㎡																							
						メイン棟	旅館	1,538.53	旅館コンクリート造 地上2階・地下1階(客室1室) 建築面積 911.04㎡																							
						連絡通路1	渡り廊下	51.14	地上1階 建築面積 51.14㎡																							
						連絡通路2	渡り廊下	75.22	地上1階 建築面積 75.22㎡																							
合計			5,926.96																													
008	神奈川県厚木市物産倉庫建設工事	厚木市三田字仲町1569地	株式会社富士ロジック 代表取締役 井出 淳 東京システムカーゴ株式会社 代表取締役 南野 耕介 関東不動産開発株式会社 代表取締役 藤野 研一	特定流通業務施設の建設	16,117.83	1	倉庫	16,328.59	鉄骨造 地上2階 建築面積 16,328.59㎡	・倉庫エリア、事務所エリア共に高効率なLED照明設備を導入し、省エネ化を図った。 ・空調エリアにおいて、全熱交換機を採用し、空調効率を高めた。(倉庫エリアは非空調) ・空調エリアでは個別制御により細かい空調を可能とし、無駄なエネルギー消費を避けた。 ・複層ガラス、高断熱を採用した。	・厚木市緑の協定で定められている緑化基準15%を超える緑化を図った。(26,333、4274.72㎡)	・駐車場、駐輪場を設置した。 ・敷地内に樹木スペースを確保し、近隣の交通量を妨げないようにした。	・緑道部では出入り口である道路切り下げ部分を設け、緑化を行った。 ・公共緑地は南側へ計画し、公共緑地利用者にも良好な環境とした。 ・厚木市緑の協定で定められている緑化基準15%を超える緑化を図った。(26,524、4274.72㎡)(再掲)	・アイドリングストップを徹底した。 ・燃料消費率を改善させないように、建設機械等の整備・点検を適正に行う努めた。	△	△							種番号1 ・総合評価 ★★★★ B+以上 ・地球温暖化への配慮 ライフサイクルCO2排出率 80%以下 ・ヒートアイランド現象の緩和 スコア2.5以上	種番号1 ・総合評価 ★★★★ B+ ・地球温暖化への配慮 ライフサイクルCO2排出率 74% ・ヒートアイランド現象の緩和 スコア3.0	2020/5/20	2021/4/30	2021/9/1 土地の位置及び区域 開発事業者 延べ面積	2021/6/28				
						2	駐輪場1	11.47	鉄骨造 地上1階 建築面積 6.07㎡																							
						3	駐輪場2	11.47	地上1階 建築面積 6.07㎡																							
						合計			16,351.53																							

※1 「再生可能エネルギー等の活用に係る検討の結果の表型」の説明

- △：検討を行った設備
- ：検討を行い、導入を予定している設備

※2 「再生可能エネルギー等の活用に係る検討の結果」の「その他設備」欄における表型の説明

- 高効率空調設備：ヒートポンプ技術を用いた高効率の空調設備
- LPガス自動車：ディーゼル代替LPガス自動車
- コージェネ：コージェネレーションシステム(ガスエンジン給油器及び燃料電池以外で、エネルギー消費効率の高いものに限る。)
- EMS：エネルギーマネジメントシステム(エネルギー消費量の計測、記録及び表示並びにエネルギー利用設備の制御を行う機能を有するものに限る。)

※3 「届出状況」の「変更届」欄における変更事項の表型の説明

- 措置の内容：温室効果ガスの排出の抑制を図るため実施しようとする措置の内容
- 再生可能エネルギー：再生可能エネルギー等の活用に係る検討の結果に変更があった場合
- 措置及び評価の目標：特定建築物に係る地球温暖化対策の措置及び評価の目標に変更があった場合